

学校だより

令和7年10月

石山

新宿区立戸山小学校

読書の秋

副校長 諏訪部 浩志

「暑さ寒さも彼岸まで」、最高気温が30度を下回り、秋を感じる頃となりました。『スポーツの秋』、『芸術の秋』、『食欲の秋』、様々な活動に適した時季の訪れです。よく耳にする『読書の秋』もその一つです。秋は読書の似合う季節でもあります。『読書の秋』の由来は、中国の唐時代の詩人 韓愈が詠んだ漢詩が元になっていると言われています。この漢詩から、「燈火親しむべし」という言葉がやがて日本に伝わり、“秋の夜は灯りをともして読書をするのにふさわしい”というイメージになったそうです。(諸説あり?) 暑くも寒くもなく、過ごしよい秋は、読書にはもってこいの季節に思えます。

本校では先月、読書旬間を設定し、全校で本に親しみました。保護者の方には二週にわたって読み聞かせをしていただきました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。教員も担当学級を決めて読み聞かせを行いました。子どもたちは皆熱心に聞いてくれ、心地よいやり甲斐を感じる事ができました。

読書は子どもたちに様々な力を付けてくれます。

<語彙力が育つ>多くの本を読むと語彙が増えます。語彙力とは言葉のボキャブラリーだけでなく、TPOに応じた言葉選びができる能力も含まれます。私たちは日常生活におけるコミュニケーションの手段として、自分がこれまでに獲得してきた言葉や表現を使って会話をしています。本は自分とは異なる人物が書いた文章であるため、今までの自分にはなかった表現方法を学ぶことができます。

<想像力が育つ>本は読み手に無限の可能性を与えてくれます。同じ文章でも読み手によって受け止める光景は異なり、本という仮想世界の中で五感をフルに活用して楽しむことができます。実現不可能なアクションシーンや魔法、動物たちとの会話、未知との遭遇など、子どもたちの柔軟な想像力は読書によってさらに豊かになります。想像力が育つと、既存の知識や情報から新しい着想を得る力も養えます。

<集中力が育つ>集中力とは、一つの物事に意識を集中して取り組む能力です。子どもが良い本と巡り合うことで、周囲の音に気付かなくなるほど集中力が磨かれます。集中力を養うためにも、子どもたちには自分が夢中になれる本と出合っほしいです。

<読解力が育つ>本を読むメリットは国語科のような文系科目で顕著に現れますが、決してそれだけにとどまりません。あらゆる学習において、問題場面を読み解くための読解力は必要であり、課題解決に活用していきます。文章を読む、要約する、理解するといった能力を身に付けていくことは大切なことです。

<新しい知識が増える>本を読むことで新たな知識が増え、今まで知らなかった世界に触れることができます。視野が広がり、物事を多面的・多角的に捉えられるようになり、考え方や価値観が深まっていきます。

<ストレス発散とリフレッシュ>読書習慣が身に付き、趣味や娯楽として認識できると、ストレス発散の方法が一つ増えます。心をリフレッシュして、明日からの活力に役立てたいものです。

まなびの教室より

まなびの教室担当

戸山小学校の1階、昔の幼稚園園舎にある教室が「まなびの教室」です。

苦手なことは誰にでもあり、一人一人みんな違います。例えば、作文が苦手、発表するのが苦手、楽器を演奏するのが苦手、計算が苦手、絵を描くのが苦手、言われたことを覚えておくことが苦手、友達とうまく付き合うのが苦手……。苦手なことは大人にも、子どもにも、誰にでもあります。でも、苦手なことも、できるようになるための方法や学び方を工夫すると、少しずつできるようになります。

まなびの教室は、こういうことができるようになったら、クラスでもっと安心して学習することができるのになあということを、自分に合った学び方で学習して、少しずつできるようにするための教室です。何年生からでも利用でき、自分が目標にしていることができるようになったら、通うことを終了することもできます。

まなびの教室で学ぶ時間は、クラスの授業と異なる場所で学習することになりますが、どの子ども自分の得意や好きを生かして学習に取り組んでいます。

クラブ活動について

特別活動部 クラブ担当

「クラブ活動」では、4年生以上の子どもたちが学年や学級の所属を離れ、同好の子どもたちで集い、交流を深め、共通の趣味・関心を追求する活動を行っています。毎年、3学期に子どもたちから意見や希望を取り、クラブの種類や所属を決めています。今年度は新たにダンスクラブが誕生しました。全部で9つのクラブに分かれ、年間12回の活動を進めています。計画や運営の主体は子どもたちです。その年に集まったメンバーでの運営のため、同じ名前のクラブであっても、取り組む内容や活動の進め方が変わることもあります。普段の授業よりも時間が長いため、じっくりと好きなことに向き合うこともできます。中には、地域や専門の方をお招きしてスキルアップをしているクラブもあります。1学期は4回の活動がありました。好きなことや初めて挑戦することに笑顔で取り組む様子が見られました。

今年度のクラブ

校庭運動、バドミントン、室内遊び、音楽、和太鼓、まんが、手芸工作、理科、ダンス